

No. 2019-35

発行: 2019年5月8日

## レベル4 自動運転車に対応 タイヤ周辺サービスを群馬大学と共同研究

住友ゴム工業(株)(社長:山本悟)は、群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター(CRANTS)との協業で、レベル4(完全自動運転)に対応したタイヤ周辺サービスの共同研究を開始します。この研究の成果を、レベル4に求められるインテリジェントタイヤの開発や、デジタル技術を活用したタイヤサービスの実装にフィードバックし、次世代モビリティに適応した安全で事故のない社会づくりに貢献してまいります。



群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター  
(CRANTS)



実証実験車両(自動運転車)

今回の共同研究は、センサーを使用して走行時のタイヤ空気圧・温度を監視することで、パンクなどのトラブル発生時のメンテナンスに対応するものです。タイヤに関する異常を感知した際に、行動判断に必要な情報をCRANTSに設置された自動運転管制所に提供することで、完全自動運転が実現されたレベル4の時代でも、安全な運行ができるようなタイヤサービスの構築を目指します。

自動車産業を取り巻く環境が大きく変化するなか、当社は「さらに高い安全性能」「さらに高い環境性能」を実現するためのタイヤ技術開発コンセプト「Smart Tyre Concept」を掲げています。当社はこれからも安全で事故のない社会づくりに貢献してまいります。

〈群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センターについて〉

次世代自動車産業振興に資する産学官金連携イノベーションの拠点形成を目指し、次世代モビリティシステムの社会実装研究と開発、高度人材育成を目的として2016年に設立。同年から群馬県桐生市内で自動運転自動車の公道実証実験を開始している。

※自動運転レベルの定義については下記ウェブページを参照。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/20180615/siryou9.pdf>

以上